

第 44 号

発行所

茶道裏千家淡交会
石川南青年部

石川県小松市小馬出町 123
松本パークハウス 24 号
TEL0761-24-6457

印刷社名
(株) 鶴川印刷

会報 細花

年間テーマ・目標

「できるようになってからやるのではなく、やっでできるようになる」

茶道裏千家淡交会石川南青年部会報

総会・歓迎茶会 ランチ懇親会

平成 28 年 1 月 31 日 (日)、小松市芦城センターに於いて、茶道裏千家淡交会石川南青年部総会が行われました。

石川南支部幹事長で青年部育成委員長の岩谷宗久先生と青年部育成副委員長の上出宗智先生をお招きし、ことば・利休居士道歌・青年部綱領の唱和を行いました。総会では、行事報告書・決算報告、行事計画案、予算案が審議され無事承認されました。

総会に先立ち行われた新入会員歓迎茶会では、終始和やかな雰囲気の中、会員同士交流を深めました。また、総会終了後には、小松市にあるフレンチレストラン「バリン」に場所を移して、ランチ懇親会を行いました。食事をしながら今後の青年部活動について話をしたり、久しぶりに会う会員とは近況を報告し合ったりと話も弾み、笑顔も多く楽しい会となりました。

(吉館 聖子)



「歓迎茶会および総会に参加して」

阿美 定花

初めに、茶道裏千家淡交会石川南青年部の歓迎茶会にお招きくださいます。誠に有難うございます。

私は学生時代茶道部に所属していながら、お茶会に積極的に参加してこなかったのです。お茶席での作法に明るくなく、少々お茶会に対して気おくれしていたのですが、青年部の皆様のおかげでも楽しい時間を過ごさせていただきました。

新年初の集いということもあり、新年や干支にちなんだお道具の取り合わせ、趣向を凝らしたお菓子やお茶席のしつらえもとても興味深く、御正客を務めてくださった行松さんと、亭主の岩谷部長のお話しをうかがっていると、亭主をはじめとした皆様の心尽くしのもてなしの心を深く感じる事ができました。皆様とても気さくな方ばかりで、まだあまり面識のない私にも分け隔てなく接して下さる皆様には感謝の心でいっぱいです。

5月には、支部では地区大会という大きなイベントが待ち受けています。大会とそこで開催されるお茶席は今回の総会でも話し合われていたことではありましたが、その規模の大きさには

今から圧倒されるばかりです。その中で未熟な私が一体どの様なことが出来るかはわかりませんが、皆さんのお邪魔にならぬよう精一杯のことができればと思っています。至らない点も多いかとは思いますが、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。

ランチ懇親会♪



古帛紗作り教室

平成28年2月28日(日)、小松市芦城センターにおいて、ジュニア委員会主管による古帛紗作り教室が行われ、16名の参加がありました。

講師の丹羽陽光先生と青年部OBの谷口香さん、奥村洋子さんの指導のもと古帛紗作りを体験しました。用意された生地は青木間道といって、青地の半分にはベージュの縞模様が入っていました。生地のをさを基準に型紙を当てて線を引き、更にその線の8ミリ外側に線を引き、一本の糸で縫っていきます。一本の糸で縫うのは、一本筋を通すという意味があるそうです。わざと外の三片を縫い終わると、今度は最後の5針分くらいを緩めて、糸の間から裏表をひっくり返します。ところが古帛紗作りのときは、最後の仕上げのアイロン掛けにかかっている、古帛紗の周囲がでこぼこになったり、直線が歪んだりして、皆なかなかうまくいかず難しかったようです。完成後、皆でお茶をいただきました。この素敵なお揃いの古帛紗は、5月の北陸信越地区大会で使う予定です。

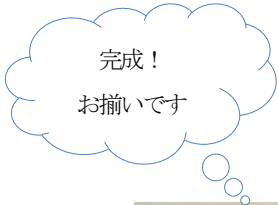
(美川 信貴)

「古帛紗作り教室に参加して」

岡田 友紀



古帛紗作りを初めて体験させていただきました。作製の前に、名物裂の名称には、所有されていた、またお好みであった等由緒のある人名が、多くのこと、仕覆の花結びの起源は戦国時代に使われていた封印結びであることなどをお教えたいただきました。講師の丹羽陽光先生の説明はとても分かりやすく、親しみやすいお人柄で楽しい作業時間となりました。間道の裂地は縞模様で直線が縫いやすい一方、裏表で柄がずれないように縫うことが難



しかったです。普通の裁縫と違い、ミ
リメートル以下の細部での正確さが必
要だと感じました。
助手として青年部OBの谷口香さん、
奥村洋子さんがいて下さり、お声をか
けやすいことを幸いにくくさん質問し
修正もしていただきました。おかげで
何とか古帛紗を完成させることが出来
ました。青年部の皆さんとお揃いの古
帛紗を使う日が楽しみです。

第45回 北陸・信越地区大会

平成28年5月21日(土)、22日(日)、
石川南支部主管にて第45回北陸・信越
地区大会が開催され、石川南青年部は、
学校茶道と合同で立礼席を担当させて
いただきました。会場は、小松市にあ
るサイエンスヒルズこまつにて行われ
ました。二日間ともに爽やかな晴天に
恵まれ、県内外からたくさんのお客様
に来ていただきました。
学校茶道と青年部の合同席は、義経
と弁慶ゆかりの安宅の関、勸進帳をテ
ーマに会場を設えました。点前座の両
脇には関所の柱を立て、周りを歌舞伎
の定式幕でかこみ、まるで勸進帳の舞
台があるかのような空間ができました。
そして、岩谷樹部長によるこまつ曳山
子供歌舞伎に倣った口上が述べられ、
大拍手の中、茶席がスタートしました。
お運びは、学生さんと青年部が一体
となって動き、学生さんは飲み込みが
とても早く、大きな会場で緊張もして
いる中、テキパキと動いていて青年部
は皆感心していました。



今回、学生の皆さんと学校茶道の先
生方やたくさんの方々との協力で合同席
が行えたこと、石川南青年部として感
謝の気持ちでいっぱいです。準備段階
で、茶席の設えやお道具等について、
数多くの話し合いを何度も何度も重ね
たことで、皆さんとの絆をより深めら
れたのではないかと思います。この大
会をきっかけに、今後このようなつな
がりが増え、若い人たちが茶道に触れ
る機会がより多く持てたら幸いに思っ
ます。本当にありがとうございます。
(武田 奈津)



清宵茶会
〜青年部茶会〜

平成28年6月26日(日)、小松市の安宅住吉神社にて青年部茶会が開催されました。梅雨時の開催という事で雨も心配されましたが、無事に晴れ、また、地区大会終了後まもなくの開催にも関わらず、約230名と本当にたくさんのお客様に来ていただきました。

今回の茶会は青宵(せいしやう)茶会と名付け、蛍の趣向を取り入れた演出をし、1席2服で、違う種類のお茶を楽しんでいただきました。また、2服目には、茶席の明かりを消して、小さなライトを周りにちりばめて、夏の宵の蛍の雰囲気を作りました。ライトを置いた時には、お客様からわあっと歓声がおこり、ほのかな明かりの中、お茶とお菓子を楽しまれていました。なお、待合には名水飲み比べコーナーを作り、北陸各地の名水を味わっていただきました。当日はやや蒸し暑い日になりましたが、いつもと違う空間の中、皆様心癒される雰囲気を感じていただけようでした。

(坂本 哲也)



「清宵茶会の水屋に参加して」

竹中 亜希子

前夜の大雨に当日の天候を心配しましたが、雨が落ちることなく、皆の日頃の良い行いのお蔭かと。

久々の茶会への参加、水屋リーダー、1席に2種のお茶を出すとのこともあり、少し緊張もしましたが、皆的確かつ迅速な働きに助けられ、スムーズに水屋をこなせたのではないかと思います。時折メンバーから出る笑いに和やかな雰囲気になり、皆の笑顔と、スマイス委員長の「美味しくなあれ」の合言葉で美味しいお茶が立ったのではとニヤリとしました。時に返ってきた茶碗に付くお茶だまに申し訳ない気持ちになったりもしましたが、残念ながら水屋の位置的に席中の様子を窺うことは出来ませんでした。皆で苦労した様々な趣向にお客様も楽しんでくれたことでしょうか。水屋の中もなかなか楽しませていただきました。



編集後記

5月の地区大会では学茶の先生方、生徒の皆様とご一緒に合同席を担当し、二日間にわたり大勢のお客様をお迎えするという、またとない経験をさせていただきました。6月の清宵茶会には地区大会からそれほど日が経たない中、多くの先生方、お客様にお越しいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも皆様のご期待に添えるような青年部活動を心がけていきたいと思えます。
(立花 千佳)

青年部会員募集中

私たちと一緒に活動しませんか？
詳しくは・・・
淡交会事務所

(0761-24-6457)

石川南青年部部长 岩谷

(0761-22-6311)

「さいか(細花)」とは？
細かい花のようにお茶が点っている様子を表した言葉。
会員一人一人は小さい花かもしれませんが、みんなが集まって青年部として一つの大きな花を咲かせていけるように、という気持ちが込められています。